

社会資本総合整備計画

【鹿児島市における機能性の高いまちづくり（第2期）】

事後評価（説明資料）



社会資本総合整備計画の変更について

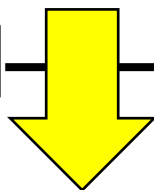
基幹事業（都市再生整備計画事業）と
効果促進事業（緑道整備、住居表示実施）
で構成

○計画当初（H30年度）

鹿児島市における機能性の高いまちづくり（第2期）

基幹事業		H30	R元	R2	R3	R4
▶都市再生整備計画事業 （吉野地区） ※事業名：都市再生整備計画事業	区画整理	○	○	○	○	-
	公園	-	-	○	○	○
効果促進事業	緑道整備	○	-	○	-	-
	住居表示実施	-	-	-	-	○

R2～：都市再生整備計画の個別補助化



○計画変更後（R2年度以降）

R2年度以降の事業を計画から削除

鹿児島市における機能性の高いまちづくり（第2期）

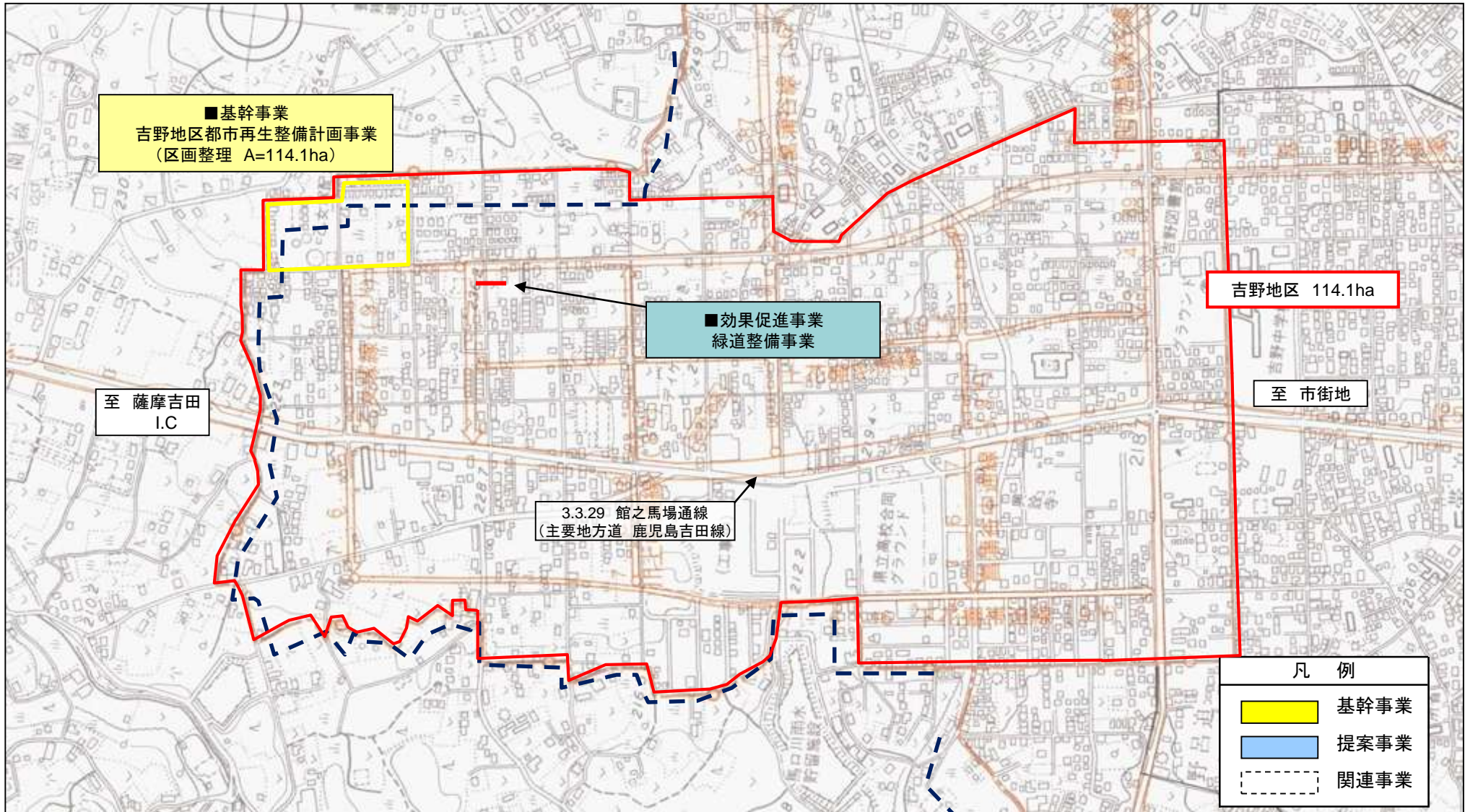
基幹事業		H30	R元	R2	R3	R4
▶都市再生整備計画事業 （吉野地区） ※事業名：都市再生整備計画事業	区画整理	○	○			
	公園	-	-			
効果促進事業	緑道整備	○	-			

R2より、
都市構造再編集中支援事業が創設され、
「都市再生整備計画事業」を「個別補助」
として集中支援（40%→45%へ国費率UP）
⇒R2以降の実施を社総計画から削除
（※効果促進事業についても、基幹事業とあ
わせて整備する必要があることから、
R2以降の計画を削除）

社総計画から削除した
令和2年度以降の事業については
個別補助
「都市再生整備計画（吉野地区）」
で実施し、事後評価を行う

計画変更による指標（居住人口の維持）への影響はないため、
計画期間としてはH30～R4の5年間で変更なし

事業の実施内容



■ 基幹事業
吉野地区都市再生整備計画事業
(区画整理 A=114.1ha)

■ 効果促進事業
緑道整備事業

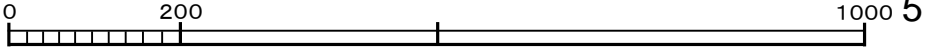
吉野地区 114.1ha

至 薩摩吉田
I.C

至 市街地

3.3.29 館之馬場通線
(主要地方道 鹿児島吉田線)

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

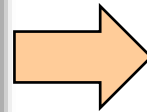


吉野地区都市再生整備計画事業（区画整理）

整備前



整備後

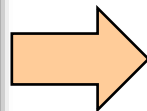


区画整理の実施により…

車が容易に離合できる道路幅員が確保され、良好な交通環境が形成されるとともに、住宅が建ち並び、まちの活性化が図られた。

緑道とは

幹線道路から住宅地への通過交通を抑制し、住環境の悪化を防ぐための歩行者専用道路



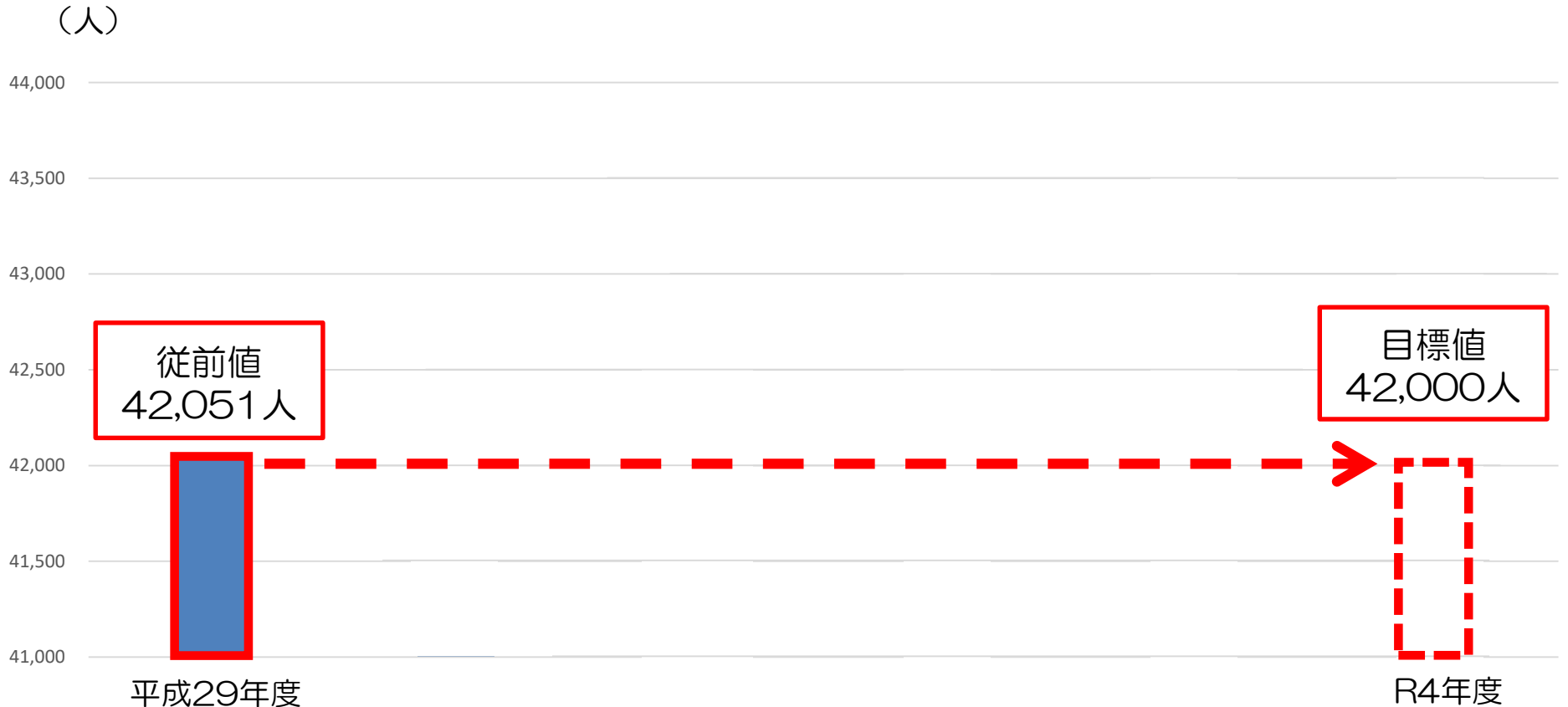
緑道整備により…

歩行者空間を視覚的に分かりやすくしたことで、車両の進入が抑制され、歩行者の交通安全が確保されるとともに、都市景観の向上が図られた。

事後評価シート（指標）

指標：居住人口

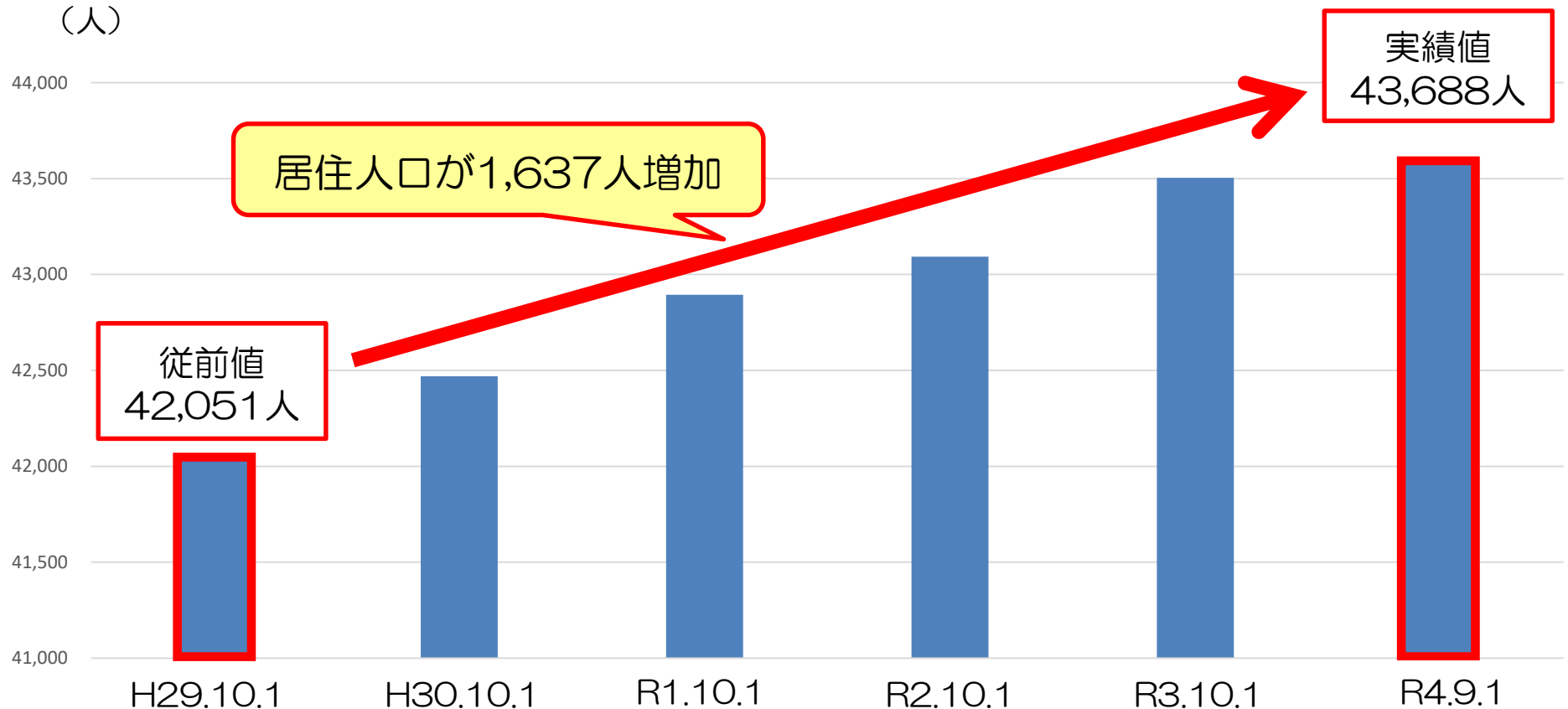
吉野地区土地区画整理事業施行区域内及び周辺地域に居住する推計人口（人）
（吉野町・川上町・下田町・吉野一丁目・吉野二丁目）【※市統計データより】



従前値 (H29年)	目標値 (R4年)
42,051人	42,000人

指標：居住人口

吉野地区土地区画整理事業施行区域内及び周辺地域に居住する推計人口（人）
（吉野町・川上町・下田町・吉野一丁目・吉野二丁目）【※市統計データより】



従前値 (H29年)	目標値 (R4年)	実績値 (R4年)
42,051人	42,000人	43,688人